



そこで私はまずこの流れを
横線の広がりにし、
これに沿う地域の集まりを
縦線で区分する構図を考えました。

山口長男 績帳制作のことば

川内まごころ文学館 令和2年度特別企画展

郷土を彩る 芸術家たち

2021年
3月9日(火)
↓
5月9日(日)



やまとちたけお
山口長男をはじめ、川内ゆかりの
多彩な芸術家たちを紹介します

薩摩川内市川内まごころ文学館

〒895-0072 鹿児島県薩摩川内市中郷二丁目 2-6
TEL:0996-25-5580 FAX:0996-20-0818

場 所 川内まごころ文学館 企画展示室
休 館 日 月曜日 ※祝日の場合はその翌日
開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30まで)
観 覧 料 大人 300円 / 小学生~高校生 150円
※小学生~高校生は土日祝日観覧無料

後援 / 南日本新聞社 MBC 南日本放送 KTS 鹿児島テレビ KKB 鹿児島放送
KYT 鹿児島読売テレビ NHK 鹿児島放送局 FM さつませんだい

写真 上: 山口長男「総親和と躍進(I)」川内文化ホール緞帳デザイン
中央: 山口長男絵付け焼物 ※初展示 下: 山口長男「総親和と躍進(II)」

川内まごころ文学館 令和2年度特別企画展
郷土を彩る芸術家たち

2021.3.9㊱～5.9㊲

川内文化ホールの綾帳のデザイン原画を中心
 に、山口長男の初展示資料をはじめ、秋朱之介の
 手がけた稀観本、音楽家でありながら文筆家として
 も活躍した武満徹の貴重な限定本、有島生馬の書画
 など川内ゆかりの芸術家たちの資料を紹介します。



a



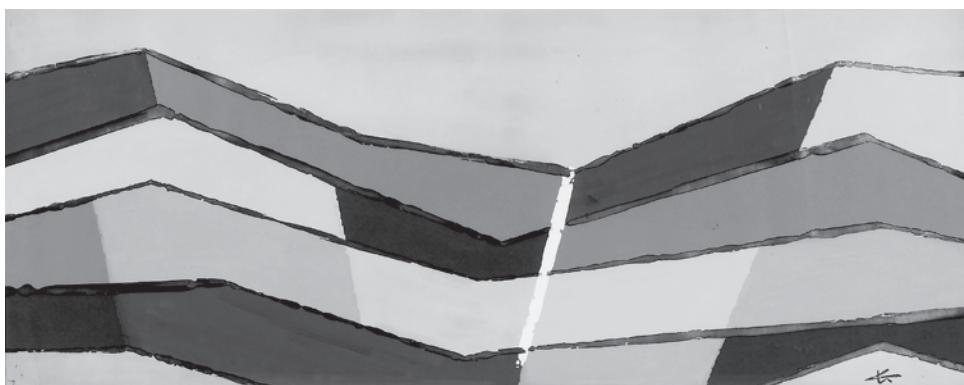
b



c



d



e



f



g

a～d：山口長男絵付け焼物 *初展示
 e：山口長男「総親和と躍進(II)」
 川内文化ホールの綾帳のデザイン案
 f：秋朱之介「書物游記」
 朱之介の詩などをまとめた一冊。出版
 された本にコラージュを施している
 g：堀口大學 訳「悪の華」
 装丁は秋朱之介



アリシマ イクマ
有島 生馬
 1882-1974

洋画家。本名・壬生馬。『白樺』創刊に参加。二科会、一水会創設に携わる。文筆家としても、多くの作品を残した。

父は薩摩川内市平佐町出身の有島武。兄に有島武郎、弟に里見弾がいる。



ヤマグチ タケオ
山口 長男
 1902-1983

洋画家。ソウルに育ち、パリに遊学。有島生馬の紹介により二科展に出品。日本抽象美術の開拓者。川内文化ホールの綾帳のデザインも手がけた。

本籍は薩摩川内市川永野町。



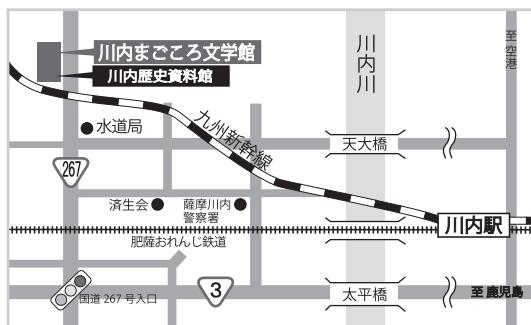
タケミツトオル
武満徹
 1930-1996

作曲家。20世紀後半のクラシック音楽史を代表する世界的な作曲家の一人。代表作「ノヴェンバー・ステップス」のほか、「狂った果実」や「乱」など映画音楽も多数作曲している。父が薩摩川内市隈之城町出身。



アキ シュノスケ
秋 朱之介
 1903-1997

出版人、詩人。薩摩川内市小倉町出身。本名は西谷小助。「眞の出版家は芸術家、特に詩人または美術家でなければならない」という理念のもと、装丁にこだわった理想の本作りを追求した。



※くるくるバスをご利用の場合は「歴史資料館前」で下車

- 開館時間 9:00～17:00
 ※入館は16:30まで
- 休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)
- 入館料 ()は20名以上の団体

	文学館	資料館共通
大人	300(240)円	400(320)円
小学生～高校生	150(120)円	200(160)円

*小学生～高校生は土日祝日入館無料

薩摩川内市

川内まごころ文学館

〒895-0072 鹿児島県薩摩川内市中郷二丁目 2-6

TEL:0996-25-5580 FAX:0996-20-0818